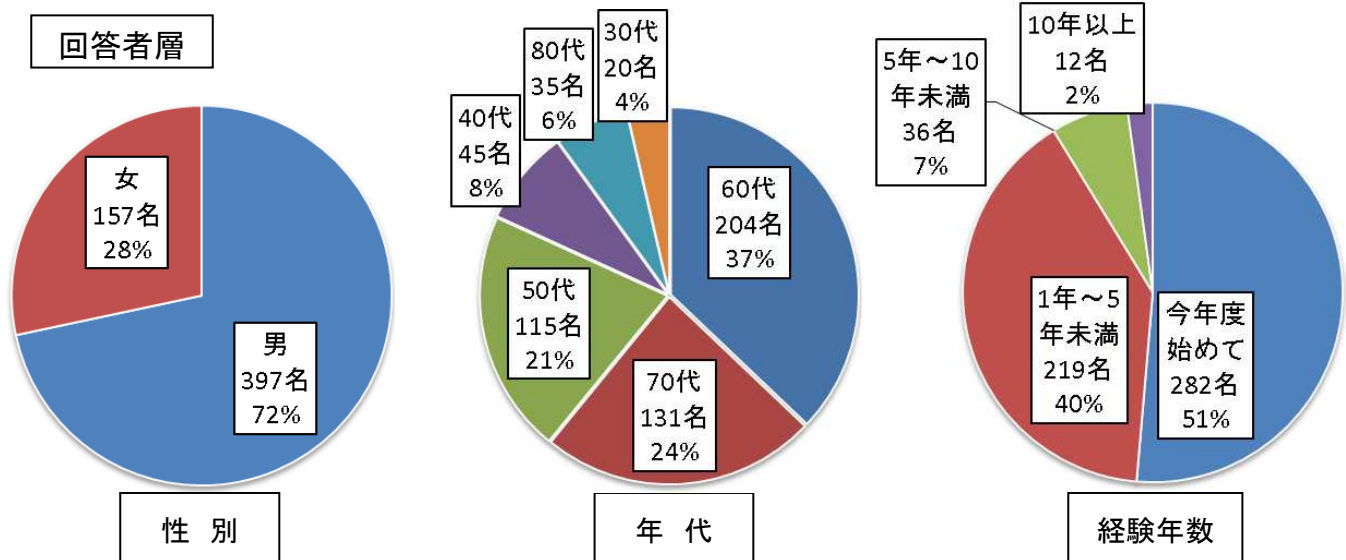


## 福祉委員活動調査アンケートの結果

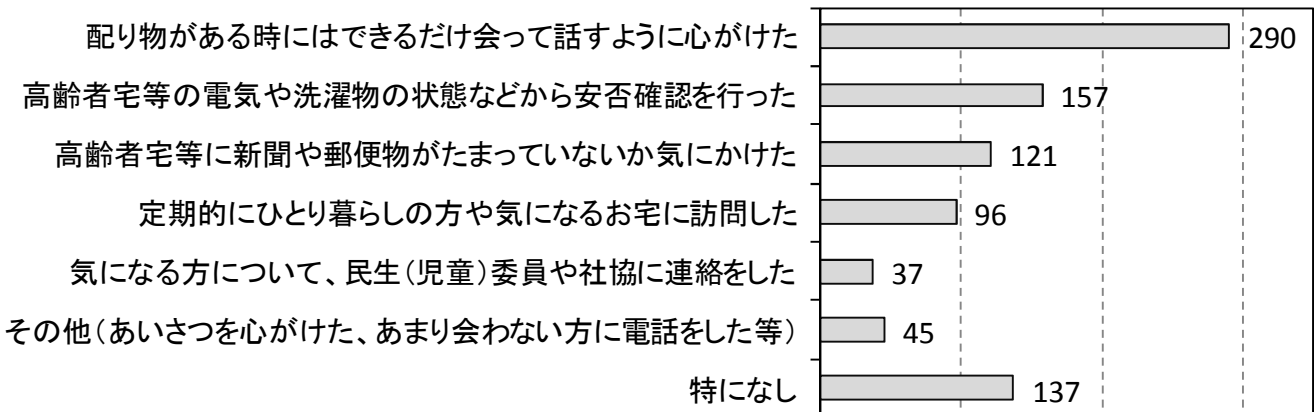
平成 24 年度福祉委員として活動いただいたみなさまにアンケートの結果を下記の通りお知らせします。（福祉委員 812 名中、556 名の方にアンケート回答いただきました。）



福祉委員の方は、男性の方が約 7 割、年代では、6～70 代の方が合わせて約 6 割という結果でした。また、経験年数については、旧市町時代から長年務められている方もおられますが、平成 24 年度から全市的な取り組みとしたこともあり、今年度初めてという方が約半数を占めています。

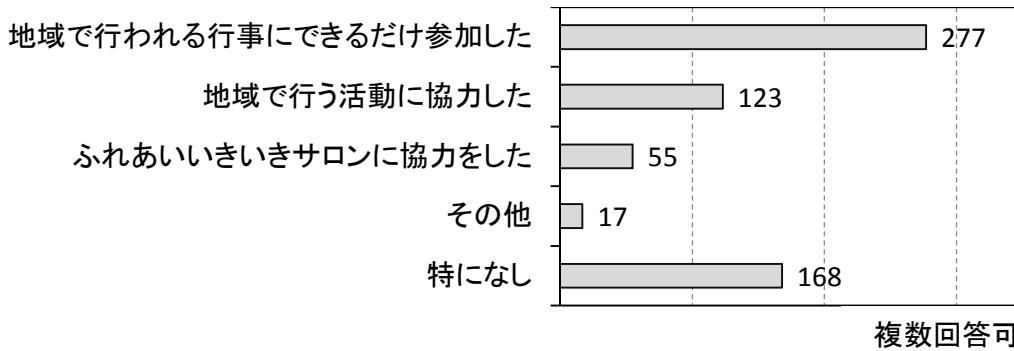
### 質問：平成 24 年度に福祉委員としてどのような活動をされましたか？

#### 声かけ・見守り活動として

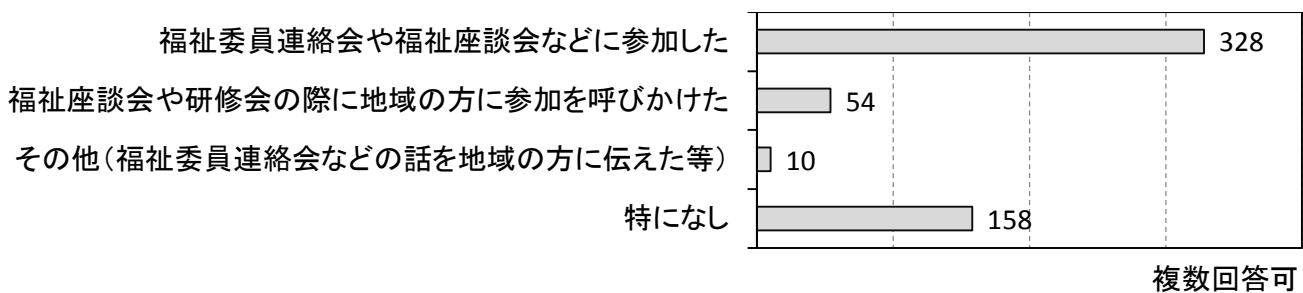


複数回答可

## 地域の福祉活動への参加・協力



## 新見市社会福祉協議会の事業への参加や声かけ

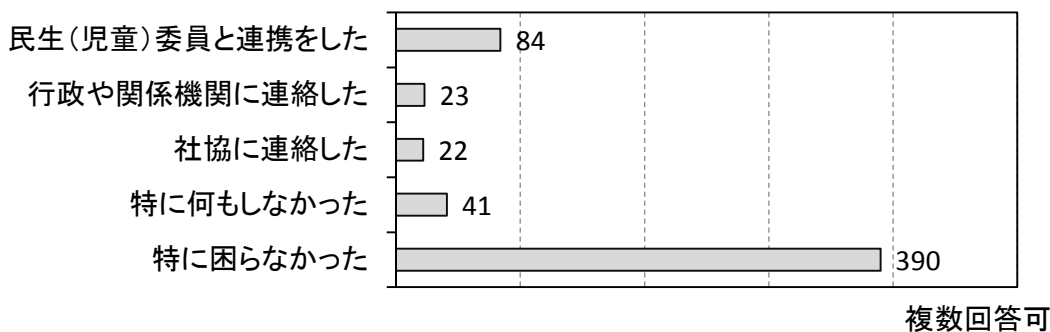


福祉委員としてどのような活動をしていただきましたか、という問いには、「地域で行われる行事にできるだけ参加した」という回答や、約6割の福祉委員の方が地区総代と兼務をされていることもあり、「市報などの配り物の際に地域の様子を把握を心がけた」という回答が多数ありました。

また、「その他」の活動として、下記の回答がありました。

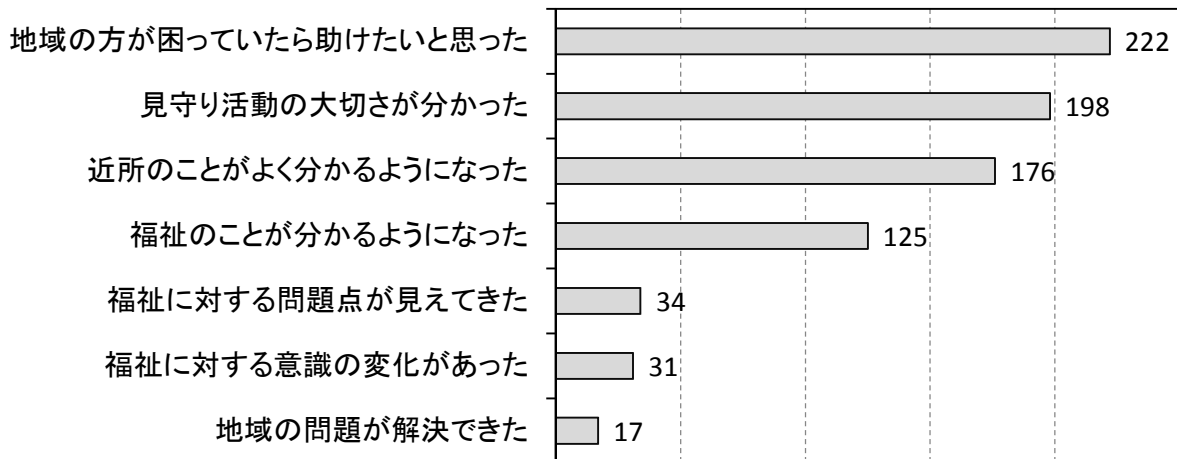
- ・気になる世帯を訪問し、処理できない問題があったときには、関係者と連絡を取った。
- ・ゴミ出しを手伝った。
- ・おかずのお裾分けをした。

## 福祉委員活動を行っていて、困った時どのようにしましたか？



「高齢者のお宅に訪問した際に、倒れているのを発見し、民生委員と連絡を取った」という回答など、緊急時などに民生委員と連絡を取ったという方が80名程度おられました。

## 福祉委員活動を行ってみて良かったこと・感じたことはありましたか？

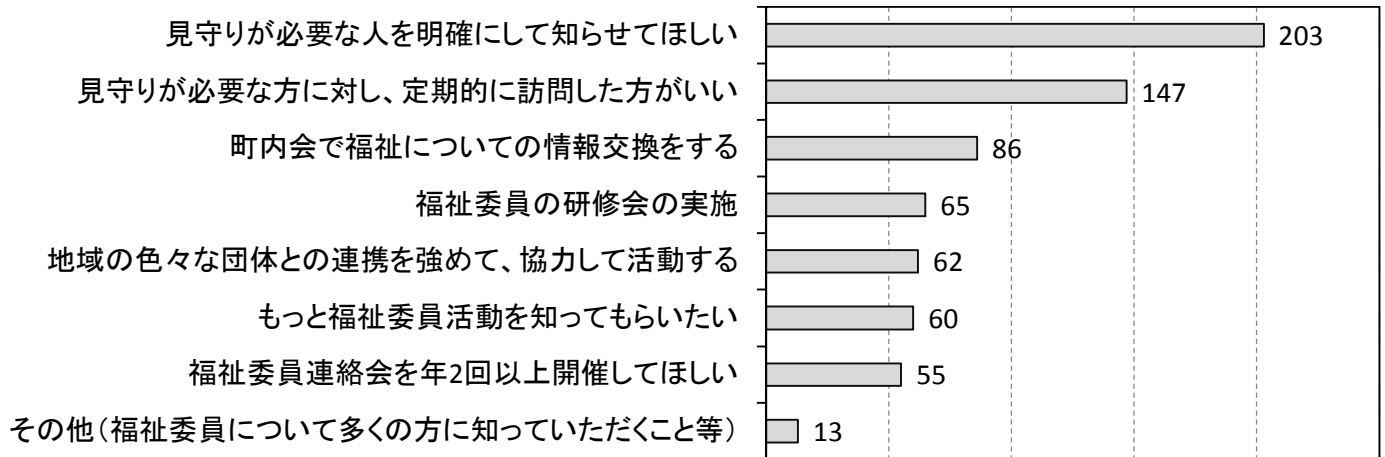


複数回答可

福祉委員連絡会などに参加して情報交換したり、見守り活動をすることで地域を知り、隣近所での助け合いや、福祉について考えるきっかけにつながったことが伺えます。

また少数ですが、「訪問時に具合を悪くされており、救急対応につながった」など、問題に直面し、解決に至ったケースも報告いただきました。

## 今後の福祉委員活動について必要であると思うことはありますか？



複数回答可

今後の福祉委員活動については、「見守る対象となる方や訪問の回数などを明確化してほしい」、「福祉委員としてどこまで踏み込んでいいかわからない」など、活動例や指針の提示をしてほしいという意見が多くありました。

また、「年1回の福祉委員連絡会だけでは民生委員の方との連携づくりは難しい」など、今後の福祉委員と民生委員の連携づくりについての課題も挙げられました。

## アンケートを振り返って

福祉委員のみなさま、アンケートにご協力いただき大変ありがとうございました。  
多くの方からいただいた意見を踏まえ、今後の取り組みに活かしていきたいと考えています。

福祉委員の役割は、「地域で暮らす中で、気になったこと・気付いたことを民生委員や公的機関につなげるアンテナ役」であり、主な活動は、「地域での見守り・声かけ活動」です。

社会福祉協議会は、地域福祉(地域住民の助け合い)を推進する団体として、地域住民が普段の生活の中で無理なく行う「ゆるやかな見守り」が地域に根付くよう支援して参りたいと考えておりますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



### 社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

本 所	0 8 6 7 - 7 2 - 7 3 0 6
大佐支所	0 8 6 7 - 9 8 - 3 1 1 9
神郷支所	0 8 6 7 - 9 2 - 6 6 7 7
哲多支所	0 8 6 7 - 9 6 - 3 1 1 1
哲西支所	0 8 6 7 - 9 4 - 3 3 3 3